

令和5年度 緑の相談広場(第2回)



令和5年5月20日(土) 13:30～
石川花の会 村上吉春

グリーンカーテンにおすすめの花 ～ 環境に優しい緑の植栽 ～

1 グリーンカーテンとその効用

- ・北向き以外の窓辺で、夏季に室温の上昇や日射を抑える等の目的で行う植栽
- ・従来の夏の暑さ対策・・・日除け(目隠し) + 風通し : ^{すだれ} 簾、^{よしず} 葎簀、打ち水 等

※熱のカット率 よしず : 25%程度

- ・植栽(グリーンカーテン)を利用した暑さ対策・・・日除け(目隠し) + 風通し + 美観

※熱のカット率 グリーンカーテン : 60%程度(植物の蒸散作用)

◎ 誰にでもできる環境にやさしい夏の暑さ対策の一つ

エアコン使用量の節減 ⇒ 発電用化石燃料の削減 ⇒ 大気中の二酸化炭素濃度の抑制

⇒ ささやかでも地球温暖化防止への貢献

2 グリーンカーテン向きの植物

(1) グリーンカーテンに必要な条件

夏の強光や暑さに強い、育てやすい(性質が丈夫)、分枝して繁茂する、
誘引しなくてもネットや支柱に絡む、強風や病虫害に強い 等

(2) グリーンカーテンに向く植物

- 《果実(茎葉)を収穫》 ニガウリ(ゴーヤ)、ハヤトウリ、ツルムラサキ 等
- 《花を観賞》 アサガオ類、トケイソウ類、ルコウソウ、クレマチス 等
- 《実を観賞》 フウセンカズラ、オキナワスズメウリ、オモチャカボチャ 等

◎ 栽培の容易さ、耐病性、耐暑性等の点から

⇒ 収穫物を楽しむなら「ゴーヤ」

⇒ 花を楽しむなら「トケイソウ」

⇒ 実を楽しむなら「オキナワスズメウリ」 がお勧め!

参考資料① オキナワズメウリ

- ・色合い（赤、黄、緑＋白の縦縞）の可愛さでは秀逸（果実には弱毒性があり食用不可）
- ・定植1週間前迄に、リン酸を含む元肥と石灰（苦土石灰）を混ぜて用土を準備する。
- ・ドライフラワーとして、リースづくり等の花材としての利用もOK
- ・市販苗の流通は限られている ⇒ 自家製苗を播種から育てる。
- ・播種（1果に3～12粒の種子） 播種前に一晩水に浸け吸水促進と発芽抑制物質の除去
- ・栽培のコツ
ア プランター2～3本植えとし、密植を避ける。
イ 種まき時期が遅れすぎない。（播種適期：4月中旬～5月中（下）旬）
ウ 元肥には、リン酸質肥料を必ず施す。

栽培手順 ……ゴーヤも同様の手順で栽培が可能

種まき(5月中旬) → 発芽 → 本葉1～2枚で鉢上げ・間引き → 本葉4～5枚で定植
25℃, 3～4号鉢 10～15日程度 2～3号ポリ鉢 プランター2～3本植

→ ネット張りとう誘引(6月) → 必要な高さで芯止め → 開花(8/下旬～) →
伸ばしたい方向に リン酸中心の液肥継続(月2回) 追肥の継続

着色・収穫開始(播種から3.5～4ヶ月) → 片づけ・完熟果(赤色)の採種(10/上旬)
開花後約3週間(緑⇒黄緑⇒赤⇒朱へと変化) 乾燥保管(可能なら乾燥剤入り容器で)

参考資料② トケイソウ

- ・宿根草で、白色及び紫色系等が耐寒性も強く露地でも越冬する場合あり。
- ・果実(種子)はつかないので、挿し芽で増やすか、前年の越冬株を利用する。
(果物としてのパッションフルーツは、同じトケイソウ科の仲間でも別種)
- ・開花期が長いのが特徴で、6月～10月まで、毎日のように花が咲き続ける。
- ・市販苗が多く流通(自家製苗を作るには6月～7月に挿し芽して翌年用の苗を作る。)
- ・栽培のコツ
ア プランター3本植えとする。
イ 植え付け時期が遅れすぎない。(植え付け適期：5月上旬～下旬)
ウ 元肥には肥効が長続きする緩効性肥料を施す。

栽培手順

購入苗の定植(5月上旬～下旬) → ネット張りとう誘引(5月下旬) →
プランター3本植、本葉3～4枚 伸ばしたい方向に伸ばす

腰の高さ位で摘芯(6月中) → 開花(7/月上旬～) → 側枝を適切に誘導(7月～) →
芯止め、数本伸びるわき芽は放任 月1回の追肥を継続 不要な側枝を利用して挿し芽苗に利用

開花終了・片付け(10月中) → 上部を30cmほど残して切除し軒下等で冬越し
花は11月になっても咲くことがある この時点でも葉は元気。室内に取り込めば越冬は確実